

社会科学学習指導案

小学校 第3学年 指導者 清水 賢治

単元名 スーパーマーケットではたらく人

単元の考察

1 児童の実態（略）

2 教材観

本単元は、小学校学習指導要領社会第3学年及び第4学年の内容（2）に基づいて設定したもので、農家、工場、商店などの中から選択して取り上げることになっている。前小単元では、地域の人々の実態を考え、生産に関する仕事として工場の仕事を取り上げた。そして、本小単元では、販売に関する仕事としてスーパーマーケットの仕事を取り上げることにした。本小単元のねらいは、「地域には販売に関する仕事があり、自分たちの生活を支えていること」「地域の人々の販売に見られる仕事の特色及び国内の他地域などのかかわり」の二点について、見学したり、調査したりして調べ、仕事に携わっている人々の工夫を具体的に考えることができるようにすることである。

児童が生活する地域には大小様々な販売の店が多数あり、店は児童にとって身近なものである。そして、ほとんどの児童がスーパーマーケット、地域の商店、コンビニエンスストアなどで買物の経験があることから、本単元を選択することで児童は今までの経験を生かしながら学習を進めることができると考えた。児童は今までの買物の経験から、それぞれの店で目にしやすい仕事については見ているが、細かな仕事やバックヤードなどの売り場以外の仕事には気付いていない児童がほとんどである。そこで、実際に販売に関する仕事としてスーパーマーケットを取り上げ、そこを見学・調査し、調べたことをまとめる中で単元のねらいに気付かせていこうと考えた。

本単元の学習のねらいを達成するためには、見学において働いている人の姿をしっかりとらえさせること、見学を基にした調べ学習を充実させ、仕事に携わっている人々の様々な工夫に気付かせていくことが大切であると考えた。具体的には学習の導入において、事前に行った買物調べの結果から、自分たちの家の買物では、スーパーマーケットの利用が多いということに気付かせる。その上で、「スーパーマーケットでは、お客さんがたくさん来るようにどんな工夫をしているのだろうか。」という中心課題を設定し、児童一人一人が明確な課題意識をもって見学を行うようにした。また、学習方法としてジグソー学習を取り入れ、スーパーマーケットの見学の計画とその実施、さらには、調べたことを一人一人がまとめて発表し合うことで、スーパーマーケットにおける様々な販売の工夫に気付けるようにした。そして、特に調べたことの中からしっかり事実をとらえ、それを基に自分なりの考えをもたせていくことで、調べて分かった事実とそこから考えたことを明確にしてまとめ、発表ができるようにしていきたい。また、ジグソー学習での発表の後に、3年生の発達の段階に合った社会的事象を比較したり、関連を考えたりする学習活動を設定し、見学・調査と発表によって得た知識を活用しながら、課題解決に向けて考えることをねらった学習を位置付けた。同時に、ジグソー学習と社会的事象の比較・関連を考える学習活動を通して、児童は販売の仕事に携わっている人々の様々な工夫に気付くことができると考えた。更に、これらの学習活動の中で、調べたことをまとめたり、考えたりしたことを発表するなどの言語活動を充実させていくことで、本研究における思考力・判断力・表現力の基盤となる言語の能力も育成できると考えた。

最後に本単元の学習を通して、消費者が商品を購入するときの工夫と販売の仕事に携わっている人々の工夫の相互の関連などについて考える力と、買物の仕方について考える中で消費者としての意識を高めながら、地域の一員としての自覚をもつようにしていきたい。

3 教材の系統

生活科	第3・4学年	第5学年	第6学年	中学校
自分たちの生活は地域の人々や様々な場所とかかわっていることが分かり、それらに親しみをもち、人々と適切に接することや安全に生活することができるようにする。	- 地域社会の学習 - 地域が生産や販売に携わっている人々の働き (1) 工場のしごと (2) スーパーマーケットのしごと - 地域の人々の健康を守るための諸活動	- 我が国の産業と国土の学習 - 我が国の農業や水産魚（食料生産）の様子と国民生活との関連 - 我が国の工業の様子と国民生活との関連 - 我が国の通信などの産業の様子と国民生活との関連 - 我が国の国土の様子	- 我が国の歴史と政治、国際理解の学習 - 我が国の政治の働き、日本国憲法の考え方 - 我が国とのつながりが深い国の人々の生活の様子、国際社会における我が国の役割	【地理的分野】 (1) 世界とその諸地域 (2) 日本とその諸地域 (3) 国際社会における日本 【公民的分野】 (1) 現代の社会生活・情報と社会 (2) 国民生活の向上と経済

4 指導方針

【導入における課題設定の場面】

- 具体的な料理（カレーライス）の食材を提示し、その食材の買い方を考えることで、単元を通して消費者としてどのようなことに気を付けて買物をしたらよいか考えていけるようにする。
- 児童が主体的に問題解決的な学習を進められるように、事前に家族の買物調べを行い、その結果を活用して、単元の中心課題「スーパーマーケットではお客さんがたくさん来るようにどんな工夫をしているのだろうか」を導き出していく。

【スーパーマーケットの見学の場面】

- スーパーマーケットの見学においては、事前の見学の計画を基に調べることをしっかりおさえて、見学をするようにしていく。
- 調べたことを効果的にまとめられるように、事実と事実から考えたことが対応して記録できるように見学のワークシートを工夫する。

【ジグソー学習による調べ学習の場面】

- 児童が責任を持って学習に取り組み、調べて分かったことや考えたことをまとめたり、発表したりするようにジグソー学習を取り入れていく。
- 個人の学習を自己評価させ、折れ線グラフにして個人の学習を把握できるようにしたものを活用し、必要に応じて個別指導をしていく。（実践時の3年生は折れ線グラフを学習していないので、毎時間の自己評価を線で結んでいくという説明をする。）
- ジグソー学習での発表の後に、児童が感じた発表に対する質問や疑問をふせんに書かせて集めることにより、学習状況の理解度を把握できるようにする。また、疑問が多かったことに対して補足説明をすることで、確実な理解に結び付けていく。

【知識・技能を活用する場面】

- 買物をする時に保護者が気を付けていることに関するアンケートの結果と、スーパーマーケットの販売の工夫を照らし合わせる活動を行うことで、消費者の工夫と販売者の工夫とが結び付いていることに児童が気付くことができるようにする。

5 言語活動の充実について

3時間目から10時間目のねらいは、「スーパーマーケットの見学における課題設定と見学の計画を立案し、それを基に見学をして記録したことをまとめて発表し合う」ことである。そのねらいを達成するためには、見学の構想と実施及び見学で調べたことをまとめ、それを発表する学習が有効である。

そこで言語活動 「課題について、構想を立てて実践し、評価・改善する」を取り入れ、考えたことを書き、それらを話し合っでまとめる中で言語の能力（「考える力」「表す力」）を高めながら、授業のねらいに迫る。なお、児童が自分の課題に対して責任をもって取り組み、その中で言語の能力を高めていくために、言語活動 にジグソー学習を取り入れることにした。

言語活動 「課題について、構想を立てて実践し、評価・改善する」

場面	発達の段階に応じた言語活動	指導の工夫
構想する	・今までの買い物の経験を通して気付いたこと、感じ取ったことを記述する。 ・比較したり、関連付けたりしながら考えをまとめる。 ・課題について考えたことを基に話し合う。	・スーパーマーケットに行った経験を基にワークシートに書いていく。 ・ワークシートに書いた考えをふせんに簡単に書き、それをKJ法でまとめ、課題を設定していく。 ・具体的に調べる内容を各自で考えてから、グループで話し合うようにする。
実践する	・調査活動の中で調べたことをワークシートに正確に記録する。	・ワークシートに調べたことを記録する欄と考えたことを書く欄をそれぞれ分けておき、調べたことと考えたことを意識しながら書くようにする。
評価・改善する	・調べて発見したことを基に、考えたことをまとめる。 ・まとめたことをグループで発表し合う。	・まとめの型を示し、それを基に書いていくようにする。 ・関連のある写真を提示しながら発表をする。

第12時のねらいは、「売り場の比較から野菜・魚・肉売り場が広い通路に沿って並んでいることを導き出し、その理由を考える」ことである。そのねらいを達成するために、二つのスーパーマーケットの売り場の配置を比較して共通点を見付け、そのようになっている理由を考える言語活動が有効である。そこで言語活動 「情報を分析・評価し、論述する」を取り入れ、売り場の配置の工夫について考えたことを書く中で言語の能力（「考える力」「表す力」）を高めながら、授業のねらいに迫る。

言語活動 「情報を分析・評価し、論述する」

場面	発達の段階に応じた言語活動	指導の工夫
分析・評価する	・二つの資料を比較しながら考え、見付けた共通点を書く。 ・見付けた共通点を発表し合う。	・二つのスーパーマーケットの売り場の配置に着目しながら比較をして、共通点を見付けようようにしていく。 ・同じような意見はないか、意識しながら聞くようにする。
論述する	・「お客さん」や「お店の人」の視点から売り場の配置の工夫を考え、売り場の配置がそのようになっている理由を書く。	・「お客さん」と「お店の人」の二つの視点から考え、書くようにしていく。

単元の目標

- スーパーマーケットの仕事に関心をもち、それらを意欲的に調べ、販売に携わっている人々の工夫について理解するとともに、消費者としての意識を高めることができる。
- 買物調べの結果を表にまとめ、それをよみとったり、スーパーマーケットを見学・調査したりして、調べたことを表現する。また、販売の仕事の特色やそれらの仕事と自分たちの生活及び国内の他地域などとの関連について考えることができる。

評価計画

1 評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	地域の人々の販売の仕事に関心をもち、それを意欲的に調べることを通して、消費者（地域社会の一員）としての意識を高めている。
社会的な思考・判断	買物調べの結果から学習の問題を見いだして追究・解決し、地域の販売に見られる仕事の特色や、それらの仕事と自分たちの生活や国内の他地域などとの関連について考えている。
観察・資料活用の 技能・表現	買物調べの結果を表にまとめ、それをよみとったり、スーパーマーケットの仕事を的確に見学・調査し、調べたことを表現したりすることができる。
社会的事象について の知識・理解	地域の販売の仕事に携わっている人々は、消費者の多様なニーズを把握して様々な販売の工夫をしていることを理解している。

2 指導・評価計画（全15時間計画）

主な学習活動	時間	指導上の留意点	評価項目（方法）
○ 本時の目当てをつかむ。 ・ 学校の周りにあるいろいろな店をまとめた地図を見て、よみとる。 ・ 店で売られている食材を提示し、何の料理の食材が考える。 ・ 提示した食材を買うときの組み合わせ方を考える。 ・ 同じ商品で値引きのシールがはられているものと、はられていないものを提示し、どうして一方にはシールがはられているのか考える。 ・ 学習のまとめをする。	1	・ スーパーマーケットやコンビニエンスストア、小売店などいろいろな店があることに気付くようにする。 ・ カレーライスの食材で、同じ商品でも値引きのシールがはられている物とはられていない物、中国産で値段の安い物、国産と外国産の肉等を提示する。 ・ 一番金額が高くなる場合と安くなる場合を具体的に考えるようにする。 ・ 値引きをしてまで商品を売り切ろうとするとところにも店の工夫があることに気付けるようにする。 ・ 販売に携わる人々の工夫と、消費者としてどのようなことに気を付けて買い物をしたらよいかの二点に着目していくことが大切であることをつかめるようにする。	【関心・意欲・態度】 ○ 地域の人々の販売の仕事に関する学習に関心をもって取り組もうとしている。 （観察・ワークシート・振り返りカードの分析）
○ 班ごとに事前に行った買物調べの結果をまとめる。 ・ 買物調べの結果をまとめた表をグループごとに発表する。 ・ 買物調べの全体の結果の表	2	・ 多く使われている店のほか、多く買われているものに注目しながら、まとめていくようにする。 ・ 消費者は食料品や日用品など、	【技能・表現】 ○ 買物調べの結果の表から、買物の特徴を読み取ることができる。 （ワークシート・振り返りカードの分析）

を見て、気付いたことや考えたことを発表する。 ・ 中心課題を設定する。		生活に必要なものを多く購入していることに気付けるようにする。	
スーパーマーケットではお客さんがたくさん来るようにどんな工夫をしているのだろうか。			
言語活動 ○お客さんがたくさん来るようにスーパーマーケットがしている工夫を考え、スーパーマーケットの見学の課題を決める。 ・お客さんがたくさん来るようにスーパーマーケットがしている工夫を考える。 ・考えたことをグループで交流してまとめ、それを全体で話し合う。 ・調べる課題を決める。 <u>予想される課題</u> ・安く売っているから ・新鮮、よい品があるから ・たくさんの品がそろっているから ・必要なものがすべて売られているから 等 ・設定した課題の中から自分の課題を選び、見学の計画を立てる。 ・ジグソー学習の進め方の説明を聞く。 ・見学で注意することについて確認する。	3	・自分の考えをワークシートに書くことで、自分なりの考えをしっかりとるようになる。 ・ワークシートに書いた考えをふせんに簡単に書き、それをKJ法でまとめていく。 ・調べる課題が単元のねらいに沿ったものになるように最後は教師がかかわっていく。	【思考・判断】 ○お客さんがたくさん来るようにスーパーマーケットがしている工夫を考え、そこから見学の課題の設定と、選んだ課題について見学の計画を立てることができる。 (ワークシートの分析)
○スーパーマーケットを見学して、自分の課題を調べる。 ・調べたことをワークシートに記録する。	5 ・ 6	・調べるポイントをしっかりとえさせて見学をする。 ・調べたこと(事実)から考えたことが書けるように、ワークシートのそれぞれの欄を分けておく。 ・調べたことを絵や文など、工夫しながら記録をするようにしていく。	【技能・表現】 ○調べて分かったことをワークシートに記録することができる。 (見学用ワークシートの分析) 【関心・意欲・態度】 ○自分の課題を意欲的に調べようとしている。 (観察・振り返りカードの分析)

○学習のまとめをする。		・記録したものをもう一度見直し、必要なことは家で書き足してくるようにする。	
○見学して分かったことや考えたことをまとめる。 ・まとめ方についての方法を知る。 ・同じ課題ごとに集まり、調べてきたことを交流する。 ・調べたことをまとめる。 ○自分でまとめたものを最初のグループに戻って発表する。 ○発表後に分からないこと、質問したいことをふせんに書く。 ○補足説明する。	7 } 10	・まとめ方に見通しをもてるように、「まとめの型」を示して説明をする。 ・交流の中で、調べ忘れたこと、新たに分かったことを取り入れるようにする。 ・調べて分かった事実から考えたことをふせんに書き交流する。 ・まとめるときに書きたい「調べて分かったこと」と「考えたこと」を線で結ぶ。 ・まとめるときは自己評価を基に、必要に応じて個別指導を行っていく。 ・まとめたものの大切な点をしっかり意識させて発表を行うようにする。 ・発表で理解できなかったことを補う活動であることを理解するようにする。 ・ふせんに書かれた内容から、必要なことについて補足説明をする。	【技能・表現】 ○調べて分かったことや考えたことをまとめている。 （児童のまとめたもの・振り返りカードの分析） 【関心・意欲・態度】 ○調べたこと、分かったことを意欲的にまとめている。 （観察・振り返りカードの分析） 【知識・理解】 ○スーパーマーケットで働いている人々の工夫が分かる。
○産地が書かれている店のチラシを活用して、売られている品物の産地を調べる。 ・チラシから売られている商品を選び出す。 ・選び出した商品の産地の場所を地図で調べて、ワークシートにまとめる。 ・学習のまとめをする。	11	・産地という言葉の説明し、意味を理解できるようにする。 ・選び出す商品は野菜・果物・肉・魚などにする。 ・二人一組で調べ、友達と協力しながら学習を進めるようにする。 ・外国から送られてきている商品もあることに気付くことができるようにする。 ・自分たちの消費生活は、他地域とかかわりがあることをつかめるようにする。	【思考・判断】 ・自分たちの地域の消費生活が、国内の他地域や外国とかかわりがあることを考えている。 （ワークシート・振り返りカードの分析）
言語活動 ○スーパーマーケットの売り場の配置図を基に販売の工夫を考える。 ・二つの資料から売り場の共	12	・二つの売り場の配置図を提示し、比較をして共通点を見付けけるようにする。 ・二つのスーパーマーケットの売	【思考・判断】 ○売り場の配置の工夫について考えている。 （ワークシート・振り返りカードの分析）

通点を見付け、ワークシートに書く。 ・見付けた共通点を発表する。 ・共通する売り場の配置の理由を考え、まとめる。		り場の配置に着目しながら比較して、共通点を見付けるようにしていく。 ・同じような意見はないか意識しながら聞くようにする。 ・「お客さん」と「お店の人」の二つの視点から考え、書くようにしていく。 ・消費者、販売者の両者にとって都合のよい配置になっていることに気付かせていく。	
○事前に行ったアンケート調査（保護者が買物をする時に気を付けていることの結果）と働いている人の関係を考える。 ・アンケート調査の結果をよみとる。 ・スーパーマーケットで働いている人の仕事をまとめる。 ・見学と配布した資料を基に、スーパーマーケットでどんな仕事をしている人がいたか振り返る。 ・買物をする人の願い（買物をする時に気を付けていること）とスーパーマーケットで働いている人の仕事の関係を考える。 ・学習のまとめをする。	13	・食品の安全性について説明し、理解できるようにする。 ・保護者が買物をするときに気を付けていることを、同じ消費者の立場になって考えるようにする。 ・見学・まとめたものの発表での知識を基に思い出すようにする。 ・見学で気付かなかった仕事は、資料から見つけるようにする。 ・保護者が買物をするときに気を付けていることと、自分たちがまとめたスーパーマーケットの販売の工夫が結び付いていることに気付くことができるようにする。 ・消費者のニーズに合わせて販売の工夫が行われていることをつかめるようにする。	【思考・判断】 ○消費者の願いとスーパーマーケットの販売の工夫が結び付いていることを考えている。 (ワークシート・振り返りカードの分析)
○いくつかの店に共通してリサイクルコーナーが設置されている理由を考える。 ・リサイクルコーナーの写真を見て、それがある理由を考える。 ・個人で考えたことを発表す	14	・リサイクルという言葉の説明し、意味を理解できるようにする。 ・直接、販売に関係のないリサイクルコーナーがなぜ、設置されているのかという点を踏まえて考えていく。 ・リサイクルコーナーは、消費者	【知識・理解】 ○スーパーマーケットが地域の人と協力してリサイクルなどに取り組んでいる理由を、店と地域とのつながりの面から分かる。 (ワークシート・振り返りカードの分析)

る。 ・具体的にスーパーマーケットで行われているリサイクル活動を知る。		を含めた社会のニーズとスーパーマーケットの社会への貢献という点から設置されていることをつかめるようにしていく。 ・再生されている物を説明し、リサイクルがどのように行われているのか理解できるようにする。	
○今までの学習を生かして、買物の仕方について考える。 ・1時間目に提示した食材を提示し、カレーライスを作るときにどのような買い方をするか考える。 (2回目の検討) ・自分が考えた買い方の理由を書き、発表する。 ・単元の学習のまとめをする。	15	・食材の写真を並べ、買物の疑似体験をしながら食材を選ぶようにする。 ・食材の産地、賞味期限、値段等の情報を基に考えるようにしていく。 ・両親、子ども二人の四大家族の設定で考えるようにする。 ・どの買い方が正しいと決めないで、いろいろな観点からの買物の仕方があることに気付くことができるようにする。 ・買うときには、自分なりに考えて買うことが大切であることを説明する。 ・単元の大事なキーワードを提示し、それを使って学んだことを文章化するようにする。	【関心・意欲・態度】 ○意欲的に商品の買い方を考えようとしている。 (ワークシート・振り返りカードの分析)